

H28 年度第 5 回(通算 13 回) 佐治地域振興会議議事概要

日 時：平成 28 年 10 月 26 日（水）午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

場 所：佐治町総合支所 2 階第 1 会議室

[出席委員] 8 名

・上田喜清・福安修・岡村裕司・井上洋美・井上明男・金田洋子・杉本淑子

[事務局] 5 名

支所長 小谷繁喜、地域振興課長 竹本康宏、産業建設課長 川西仁志、市民福祉課長 徳永努、
地域振興課課長補佐 西尾宏

[説明員] 2 名

鳥取市水道局次長兼工務課長・河原徹郎、鳥取市水道局河原営業所長・寸村忠良

平成 28 年 10 月開催 佐治地域振興会議議事概要

	議 題	主な意見等	備 考
<p>開催日時 10月26日(水) 13:30~16:30</p>	【協議事項】—	—	—
	<p>【報告事項】 1. 簡易水道事業の上水道事業への統合に伴う水道料金及び維持管理体制について</p>	<p>説明：平成 29 年 4 月から簡易水道事業を上水道事業に統合し、維持管理・施設整備事業を水道局で実施。一事業一料金の原則で 3 年後の平成 30 年 4 月から上水道料金に統一を予定している。上水道料金は審議会で検討されています。現所在地元管理の水道事業は平成 29 年度の市管理移行後に他の簡易水道料金と同一料金となる。料金支払いは基本的に従前と同じ取り扱いでコンビニ納付も可能になる。維持管理の窓口は河原支所に設置予定の営業所となります。</p> <p>○上水道事業で料金滞納はないか。 →事業倒産など止むを得ない事例はあるが、納付督促で納付いただいている。督促納付いただけない場合は給水停止の対応となるが、分納等の方法で納付いただいています。</p> <p>○山間部寒冷地は地域特性として凍結防止用水使用が多くなってしまいがメーター従量料金制の配慮はあるか。市管理移管改修負担金 35 万円もあり山間部地元管理水道利用者は負担増を強く感じる。 →凍結防止用水減免規定はありません。一事業一料金体系の原則で料金上の山間部特例はありません。頂いたご意見は、持ち帰り上層部へ伝えます。</p> <p>○簡水と上水の利用者数は →簡水が約 3 万人、上水が約 16 万人です。</p> <p>○簡水と上水の管理費の関係は →上水は企業会計で独立採算。簡水は市一般会計から補填があると思われる。事業統一後は簡水の維持管理施設整備も上水道会計で行うこととなるため赤字分は当面市会計補填となるよう調整している。</p>	<p>説明：鳥取市水道局河原次長兼工務課長、寸村河原営業所長</p>

平成 28 年 10 月開催 佐治地域振興会議議事概要

佐治町総合支

	議 題	主な意見等	備 考
<p>開催日時 10月26日(水) 13:30~16:30</p>	<p>【報告事項】 1.</p>	<p>○料金統一だけでなく、維持管理も水道局が行う点ももっと説明したほうがよいのでは。</p> <p>○鳥取市の上水道料金は他と比較してどのような状況か →現在手元にある平成 25 年 4 月時点資料では、全県庁所在地比較で福井市について 2 番目に安く、中国地方主要都市比較でも他より安くなっています。</p> <p>○現在の佐治の地元管理水道は →津無、大水、畑、春谷、余戸、河本簡水です。中、栃原は給水人口 100 人以下の飲料水供給施設で水道事業統合に含まれていません。従前同様の地元管理継続となる見込みです。</p>	
	<p>2. 「小さな拠点事業」の事前検討会について</p>	<p>資料により支所長説明：平成 29 年度より取り組む予定で説明していた小さな拠点事業を、事前検討会設置により前倒しで実質的な検討に取り組む。</p> <p>○意識調査などで実態を把握し、必要な取り組み内容や仕組みの検討が必要。早めに体制づくりに着手することに異存はないが、仕組みづくりだけが目的とならないように配慮がいる。</p>	

平成 28 年 10 月開催 佐治地域振興会議議事概要

佐治町総合支

	議 題	主な意見等	備 考
<p>開催日時 10月26日(水) 13:30~16:30</p>	<p>【報告事項】 3. 総合支所前の押しボタン式信号機の移設要望について</p>	<p>資料により竹本地域振興課長説明：北岸線国道 482 号開通により交通量が増したことに対応するもの。移設対象の総合支所前既存信号機の必要性が低下したためではなく、新設要望実現には時間がかかる見通しで、既存信号移設のほうがより早く現在の交通事情に対応できると判断したものです。</p>	
	<p>4. 民生児童委員の選考状況について</p>	<p>資料により徳永市民福祉課長説明：現在、民生児童委員 14 名中、地域担当を受け持つ 1 名が未選任となっています。引き続き選任作業を継続しています。</p>	
	<p>5. 芝生化した旧佐治中学校グラウンドの利用及び管理等について</p>	<p>資料により支所長説明：9 月 25 日に竣工式が行われ、記念のスポーツ大会が開催されました。愛称は「佐治町ふれあい広場」と命名されました。</p>	
	<p>6. 移動販売事業の再開について(買い物福祉サービス事業)</p>	<p>資料により支所長説明：見守り事業を加え、8 月より移動販売事業が再開。見守り事業対象は、昼間高齢者のみとなる世帯となります。</p> <p>○対象世帯を直接訪問するのか →声掛け程度となりますが訪問します。</p> <p>○見守り事業は小さな拠点事業に組み込まれるか →検討会での検討事項になります。</p> <p>○65 歳以上の人だけの集落は佐治にあるか →ありません</p>	

平成 28 年 10 月開催 佐治地域振興会議議事概要

佐治町総合支

	議 題	主な意見等	備 考
<p>開催日時 10月26日(水) 13:30~16:30</p>	<p>【報告事項】 7. お試し住宅の利用状況等について</p>	<p>資料により支所長説明：福園地内に整備していた職員住宅1戸をお試し住宅とし、利用していただいた方のアンケート集計資料です。平成26年27年は地域おこし協力隊住宅として利用したため、データはありません。</p>	
	<p>8. 地域おこし協力隊の取り組み状況等について</p>	<p>資料により竹本地域振興課長が地域おこし協力隊員の活動状況報告</p>	
	<p>9. 平成28年山間集落実態調査の集計結果について</p>	<p>資料により支所長説明：全調査対象113集落の中に佐治町では中と栃原が含まれます。5年ごとに県が調査実施とりまとめた資料で、小さな拠点事業の取り組みの参考になるものと考えます。</p> <p>○調査にあるように集落規模が縮小してゆく中で、先の世代が育んだ伐採期を迎えた植林地などの山村資源の活用を通して農林業を中心とした産業興しが山間部にとって重要になると思います。</p>	
	<p>10. 鳥取市ふれあい収集事業について</p>	<p>資料により徳永市民福祉課長説明：平成29年4月よりふれあい収集事業開始。</p>	

平成 28 年 10 月開催 佐治地域振興会議議事概要

佐治町総合支

	議 題	主な意見等	備 考
<p>開催日時 10月26日(水) 13:30~16:30</p>	<p>【報告事項】 11. 平成 28 年度市道南岸線改良工事の施工について</p>	<p>資料により川西産業建設課長が状況説明：平成 28 年度工事について本日地元説明予定。残り部分は用地の問題はありますが平成 30 年度完成を目指して事業を進めています。</p> <p>○現在、南岸線は市道か→そうです ○旧中学校の体育館は移設になるか→移設はありません</p>	
		<p>【その他】</p> <p>○10月21日の鳥取中部地震では尾瀬地区で民家に落石があり、水道破損が破損しコンクリにもひびが入った。被害に対する支援はあるか →個人住宅は災害復旧工事対象とならないが、水道漏水分は料金調整をしたい。罹災証明により住居被害支援対象の可能性はある。現実に居住のために使用している建物以外は対象外。</p> <p>○診療所医科通路に手すりがなく壁伝いに歩くと高齢者の方から聞いた →現在通路部分に手すりはありません。本年度取り付け可能な部分に整備予定です。</p> <p>○小さな拠点事業関係で生活維持が困難となっている具体的事例はあるか →居宅から公共交通機関利用可能地点までの移動、商店の減少、学校統合による通学送迎などがあると思うが住民意識調査などでより具体的に細かく把握する必要があります。</p>	